

平成30年度 メカトロニクス制御技術委員会 活動報告

委員長 岩崎 誠

1. 当年度活動計画及び実績

1.1 研究会

開催年月日	H30.9/25	H30.9/26	H30.12/8	
テーマ (共催機関)	「実世界ハプティクス」	「精密サーボシステムと制御技術」	「モーションコントロール」	
場所	東京(電気学会)	東京(自動車会館)	東京(芝浦工大)	
日数	1	1	1	
論文数(実績/予定)	10/10	13/8	8/12	
論文累計(実績/予定)	17/10	13/18	/30	
参加者数	18	34	19	

1.2 技術会合

(技術委員会が主催・共催するシンポジウム, 見学会, 産業応用フォーラム, 講習会, 他学会との共催行事など国内の関連行事)

予定	国際集会:0回, シンポジウム:2回, 見学会:1回, 産業応用フォーラム:1回, 講習会:0回			
開催日	会合種類	会合名	場所	実施状況
8/30	D部門大会シンポジウム	実世界ハプティクス	横浜国立大学	参加者36人
10/29	産業応用フォーラム	演習付講習会「制御系CADを活用したフィードバック制御系設計講座」	電気学会	参加者20人
11/17,18	7学会主催シンポジウム	自動制御連合講演会	南山大学(名古屋)	
11/21	見学会	メカトロニクス制御技術委員会見学会	三菱電機(尼崎)	
3/12~14	全国大会シンポジウム	モーションコントロール	北海道科学大学	

2. 次年度活動予定

2.1 研究会

開催年月日	未定	未定	未定				
テーマ (共催機関)	「実世界ハプティクス」	「モーションコントロール」	「精密サーボシステムと制御技術」				
場所	未定	未定	未定				

2.2 技術会合 (技術委員会主催共催などの関連行事)

種別	開催日	会合名	場所	特記事項
部門大会シンポジウム	8月	精密サーボシステム	長崎	
見学会	11月	メカトロニクス制御技術委員会見学会	未定	
7学会主催シンポジウム	11月	自動制御連合講演会	未定	
全国大会シンポジウム	3月	未定	未定	

3. 国際活動計画及び実績

3.1 他学会主催国際会議への協力等

- ・日仏ヨーロッパ・アジア会議 MECATRONICS2018(日本・三重)においてOSを提案
- ・IEEE-IES 国際会議 ISIE2018(オーストラリア・ケアンズ)においてSSを提案
- ・The 37th Chinese Control Conference(中国・武漢)においてOSを提案
- ・IEEE-IES 国際会議 IECON2018(アメリカ・ワシントン)においてSSを2件, Tutorialを提案
- ・IEEE-IES 国際会議 ICM2019(ドイツ・イルメナウ)において運営全体に協力

3.2 主催, 共催, 協賛国際集会

国際集会名	区分	開催日	他学会との関係	備考
SAMCON2019	・MEC, IIC主催	2019/3/4-6		

4. 論文関係

4.1 部門誌特集号計画

特集テーマ	和文/英文	日程	特記事項
Motion Control and its Related Technologies	英文	2018/4募集, 2019/3公開	

4.2 D部門HP「注目論文」の選定及び更新

	タイトル	書誌事項	更新日
1	終端状態制御によるハードディスクのショートシーク制御	和文 Vol.125, No.5, pp. 524-529, 2005	平成30年 2月22日
2	A Nonlinear Adaptive Compliance Controller for Rehabilitation	英文 Vol.5, No.2, pp. 123-131, 2016	平成30年 2月22日
3	制御対象の入出力データを用いた最小二乗法による相関法に基づく多変数制御器の調整 ー張力・速度制御装置に対する適用ー	和文 Vol.130, No.7, pp. 881-889, 2010	平成30年 2月22日

※できれば1件は会員外でも閲覧できる論文を選定(IEEJ Journal of Industry Applications(英文論文誌), または10年以上前のD部門誌)

5. 特記事項

○ 技術委員会の重点取組

① D部門英文論文誌の充実

・国際ワークショップSAMCONを設立し, regular sessionのみではなく, invited sessionを通して多くの優れた英語論文を集め, D部門英文論文誌の特集号を企画して投稿を促している。

・継続的に英文論文誌の特集号を企画している。

② 研究会の充実

・傘下の各調査専門委員会が個別の研究会開催の計画をしている。

③ 技術報告のPR方法の改善

・技術委員会のHPを開設した。HPを通して, 技術報告, 研究会, 特集号, 産業応用フォーラムのPRを行っている。さらに, 技術委員会の議事録掲載や技術委員会優秀論文発表賞の公開, これまでの活動内容の掲載などのコンテンツを充実させて積極的な広報活動を行っている。傘下委員会の個別のHPも技術委員会HP内に同フォーマットで作成している。

・調査専門委員会解散前に, 技術報告の章立てと執筆者案を作成している。

④ メカトロ道場(産業応用フォーラム)への協力

・メカトロ道場の実施について, 多くの委員が協力している。

以上